

I はじめに

(設立)

一般財団法人日本友愛協会は、昭和28年(1953年)に結成された友愛青年同志会を母体とし、昭和34年(1959年)に財団法人日本友愛青年協会(所管文部省)として設立された。平成23年4月に一般財団法人へ組織変更し、また日本友愛協会と名称を変更して現在まで公益事業を継続している。

(目的)

日本友愛協会は、友愛の設立者鳩山一郎先生の意思を昇華発展させ、友愛社会の実現を目指し、青年及び社会人の積極的交流、人間と人間、自然と人間の共存共生をはかることを目的とし創設された。

(定款 前文より)

(公益事業)

現在、本協会は友愛社会実現のため〈1〉友愛活動の原点であり青年の研鑽の場である「軽井沢友愛山荘」の運営事業、〈2〉機関紙『友愛』の発行を始めとする情報等発信事業、〈3〉オーストリア勤労青年連盟(オーストリア国)・中華全国青年連合会(中国)等との国際交流事業、〈4〉日中緑化交流基金による中国植林事業、〈5〉一般財団法人東アジア共同体研究所等他団体への協力事業を行っている。

Ⅱ 概 況

総 括

今年度は、日本友愛協会にとって大きな変化のあった年と言える。

一つには、公益目的支出計画を実施するための資金が枯渇したことから、滞りなく実施を遂行するため、財産であった友愛山荘の土地を売却し、資金を確保したことである。しかし友愛山荘運営事業を継続するため建物の確保が必要なことから、鳩山由紀夫理事長に売却し土地の賃貸契約を結んだ。この取引に関しては、理事会で審議され、評議員会の承認を得、公正証書の作成など全てが法令順守に則ったかたちでの取引が行われたことを、報告として記しておきたい。

もう一方で、今後の方針が協議され、現在本協会と同様に鳩山由紀夫理事長が理事長を務める「一般財団法人 東アジア共同体研究所」と「一般財団法人 日本友愛協会」を友愛の理念のもと統合し、一つの法人として発足させることが承認された。この統合の時期は、平成30年4月1日を目途とし平成29年度中に合併契約書の調印を可能とすべく、準備委員会も設置された。

前述の大きな動きのなか、本協会は今日まで継続してきた事業を滞りなく実施することができた。とりわけ、一昨年度より力を入れてきた国際交流事業の一つである派遣事業において、6名の大学生をオーストリア勤労青年連盟(エヤップ)へ派遣し、8日間にわたり現地での研修を実施した。これは友愛の理念を次世代につなぐための有意義な事業であったと言える。

また、国際交流事業・情報等発信事業として、鳩山由紀夫理事長が北京に赴き「友愛講演会」を実施できたことも、大きな収穫の一つとして挙げられる。

この「友愛講演会」に関しては、「私にとって友愛とは」の感想文コンテストにつながり、今年度もまた昨年に劣らない優秀な作品が寄せられた。

情報等発信事業として開催された「論語講座」も多く申し込みがあり、会場の都合から止む無く45名に限定して実施されたが、参加者からも高い評価を得た。その他の事業においても、順調に実施されたが、前述の通り、二つの法人の統合という観点からも今後の事業見直しが必要とされていることも記すべきことの一つである。

本年度をまとめて述べるなら、大きな流れの中で、恙なく事業が実施された充実の年度であったといえる。

Ⅲ 事業別報告

1、友愛山荘運営事業

(定款第4条第1号、第2号に基づく事業)

事業概要

社会の人々への「友愛」の普及、啓発をはかり、心身の健全発達に資する場としての友愛山荘の運営を行う。一般社会に広く開放することにより、世代を越えた交流を促す。ゼミ・研修会・親睦会・合宿等の利用に適した施設を安価な利用料金にて提供する。

(1)利用状況

	延べ宿泊人数	総売上金額
平成28年度	1,486人	13,435,482円
前年比	80%	89%
《参考》		
平成27年度	1,755人	15,023,950円
平成26年度	1,788人	14,374,680円
平成25年度	1,563人	11,879,196円
平成24年度	1,453人	10,153,031円
平成23年度	1,242人	8,712,233円
平成22年度	1,441人	10,682,075円
平成21年度	1,316人	10,087,175円
平成20年度	1,224人	9,446,185円
平成19年度	1,016人	6,559,020円

(2)運営費用状況

人数・売上	利用人数(人)	売上総額(円)
28年度	1,486	13,435,482
27年度	1,755	15,023,950
前年比(%)	85	89

主要経費	食材仕入(円)	リネン経費(円)	燃料経費(円)	水道光熱費(円)
28年度	2,910,640	575,329	329,898	2,506,484
27年度	2,954,027	652,434	394,330	3,275,055
前年比 (%)	98	88	83	77

一人当り経費	食材仕入(円)	リネン経費(円)	燃料経費(円)	水道光熱費(円)	経費計(円)
28年度	1,958	387	222	1,687	4,254
27年度	1,683	371	224	1,866	4,144
前年比 (%)	116	104	99	90	102

28年度の一人当たり経費平均増減率 2%増

(3)設備改修等

①厨房改良

工事実施日 平成28年12月1日から12月4日

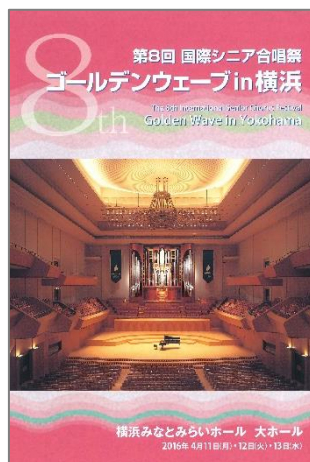


(4)広報・広告等

①特定非営利活動法人ゴールデンウェーブ 第8回国際シニア合唱祭『ゴールデンウェーブ in 横浜』の当日プログラムに山荘の広告を掲載

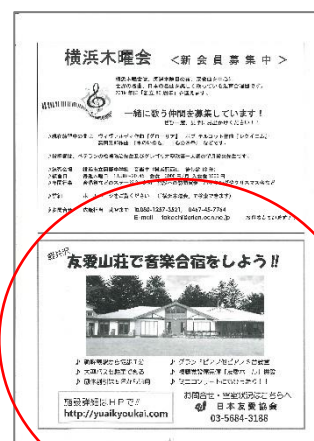
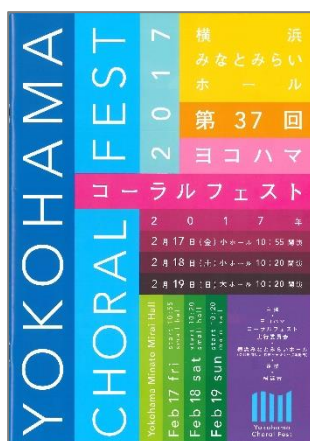
・平成28年4月11日(月)12日(火)13日(水)横浜みなとみらい大ホールにて 発行約6,000部

- ・掲載料金 A4判 $\frac{1}{4}$ ページ (W95×H139) 白黒 20,000 円 (税込)



②公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 第37回『ヨコハマコーラルフェスト』の当日プログラムに山荘の広告を掲載

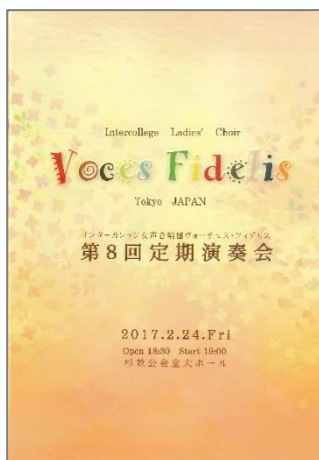
- ・平成29年2月17日(金)18日(土)19日(日)横浜みなとみらいホールにて 発行 3,700 部
- ・掲載料金 A4判 $\frac{1}{2}$ ページ (W180×H127) 白黒 10,000 円 (税込)



③インターカレッジ女声合唱団 第8回定期演奏会の当日プログラムに山荘の広告を掲載

- ・平成27年10月『The部活』(中学・高校生向けの情報誌)の音楽特集号に掲載した内容をA4判に拡大して掲載
- ・平成29年2月24日(金)杉並公会堂 大ホールにて 発行約 1,100 部

- ・掲載料金 A4判1ページ カラー 40,000円(税込)



④広 報

- イ) 友愛山荘パンフレット・価格表・友愛山荘紹介カードをセットにして、関連施設等に設置、配布を依頼。
- ロ) 友愛山荘紹介カードは名刺サイズで小さい為、持ち歩きが簡便であると好評である。



ハ) 冬季限定優待カード作成配布

晩秋から冬の期間の利用者が減少することから、本協会役員(理事・評議員・顧問・参与)及び関係各位に優待カード(名刺サイズ)を配布し、利用を促した。若干の利用は見たものの、優待カードの配布による効果は大きいとは言えない。次年度も配布を続け、利用を促すことが必要である。



表



裏

2、情報等発信事業

(定款第4条第1号、第6号に基づく事業)

事業概要

機関紙『友愛』の発行、ホームページでの情報開示(事業報告等を含む)及びリーフレットの作成、配布などを通じ、本協会の実施事業、実施目的などを広く伝達し、友愛理念についての理解を深める一助とする。

(1)機関紙『友愛』の発行

- ・機関紙『友愛』は、順調に6回発行された。
- ・理事長が参加した事業に関しては、随時理事長の執筆による報告記事が掲載され、具体的な読者への報告が行われた。
- ・投稿・寄稿もあり、読者に馴染みを持たれていることが伺える。

◆ 平成28年度機関紙『友愛』発行履歴

平成28年5月(第541号) 4,000部発行

- ▶平成二十七年度第十一回臨時評議員会開催 平成二十八年度事業計画・事業予算きまる
- ▶第二十七次友愛植林訪中団派遣 西の陝西省から北の遼寧省まで中国を一五〇〇キロ走 日中友好の苗を植える…理事長 鳩山由紀夫
- ▶友愛 ほんだな 山口千恵子著『パヤタスに降る星』

平成28年7月(第542号) 4,000部発行

- ▶鳩山邦夫副理事長 ご逝去
- ▶第十二回定時評議員会開催
- ▶日露友好 歴史的一幕を観る ヘダ号を訪ねて一戸田造船郷土資料博物館
- ▶ウィーンでのコンサート…宮下大器

平成28年9月(第543号) 4,000部発行

- ▶友愛植林地視察訪中報告
「分け入っても分け入っても青い山」…日本友愛協会常務理事 川手正一郎
「中国植林 視察の旅」…日本友愛協会最高顧問 鶴巻克雄
- ▶第十四回平成二十八年度文部科学大臣賞 けん玉ペインティングコンテスト表彰式開催

- ▶友愛 ほんだな 岩崎充孝著『故事に学ぶ』・ロゴス発行 季刊『フラタニティ』
- ▶毎年のごあいさつ…茨城県下妻市 外山茂登子

平成28年11月(第544号) 4,000部発行

- ▶第十三回 臨時評議員会開催
- ▶オーストリア勤労青年連盟(ÖJAB)より派遣員来日
より良い未来を創る・私たちの使命…慶應義塾大学法学部法律学科二年
小林沙衣
友愛が目指す平和な世界…日本友愛協会囑託・翻訳家
河口ハルトマン・ミヒャエラ
- ▶訃報 奥田吉郎理事 ご逝去
畏友奥田吉郎氏の逝去を悼む…日本友愛協会常務理事 川手正一郎
- ▶新口座開設 論語に学ぶ友愛 参加者募る
- ▶第二十七回 日本ドイツ歌曲コンクール 本選会 十一月三十日開催

平成29年1月(第545号) 4,000部発行

- ▶巻頭言 理事長 鳩山由紀夫
- ▶「友愛講演会」北京にて二日間にわたり開催 鳩山由紀夫理事長が熱く友愛を語る
- ▶第三回 友愛国際写真コンクール 表彰式開催 附録受賞作品紹介
- ▶ウィーンでのコンサート…宮下大器

平成29年3月(第546号) 4,000部発行

- ▶ベトナムへの車椅子贈呈事業 ハノイ／オリンピア小学校にて贈呈式開催
- ▶新講座「論語に学ぶ友愛」開講
- ▶国際交流事業 派遣の部 エヤップへ学生六名派遣
- ▶日本友愛協会ホームページ刷新
- ▶友愛 ほんだな 安岡定子著 己を高める、人を育てる『実践・論語塾』

◆送付先

会員・関係各位団体等 : 1,400箇所へ郵送

また、軽井沢友愛山荘、鳩山会館等関係各所にて配布している。

関係団体へ送付し、配布を依頼。

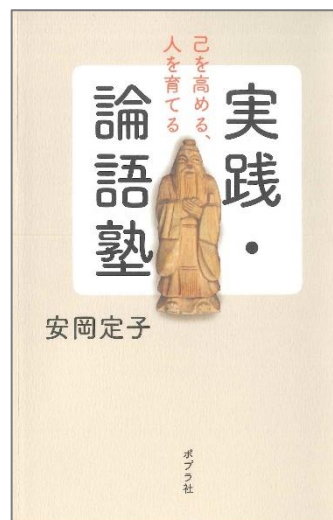
海外関係先へ送付、配布依頼(中国国際青年交流中心・北京理工大学等)。

(2) 論語に学ぶ友愛

- ・ 日本友愛協会と東アジア共同体研究所による共催
- ・ 開催日時：第一回平成29年2月11日(土) 午後2時～4時
第二回平成29年4月22日(土) 午後2時～4時
(第三回平成29年6月下旬・第四回9月上旬・第五回11月中旬開催予定)
- ・ 場所：友愛サロン(日本友愛協会事務局3階)
- ・ 受講者数：48名
- ・ 参加費用：3,000円(テキスト代、全5回分)



教科書を手に講義をする安岡定子先生。笑顔を決やさぬ素敵な女性。参加者はすっかり魅せられて



「論語に学ぶ友愛」講座の教科書



今こそ友愛の理念が必要な時ですと、講座開設の意義を話す鳩山由紀夫理事長



ご縁の深い安岡先生に来ていただけて光栄ですと講師紹介。
川手正一郎常務理事



十九歳から八十歳代まで、年齢もまちまちだが学ぶ意欲に溢れた参加者は、熱心に講義を受ける



小峰秀子評議員（右）より誕生日のお祝いの花束が贈られ、全員が拍手でお祝いした

(3)ホームページの公開・更新・リニューアル

- ・ 随時ホームページを更新した。写真を多用し、「見て解る」活動内容の掲示に努めた。
- ・ 平成29年3月1日ホームページのデザインを刷新した。各ブロックのキービジュアルには、鳩山会館のバラや庭の景色を取り入れた
- ・ 友愛山荘関連は、全ての情報がスマートフォン対応になっている
- ・ 日本友愛協会会員登録がホームページでできるようになった
- ・ 「第3回友愛国際写真コンクール」は、すべてインターネットを利用しての応募、人気投票であったため、ホームページが活用された。
- ・ 機関紙『友愛』バックナンバー（第1号～最新号[546号]）の掲示が完了しており、『友愛』発行毎に更新が行われている。

ホームページアドレス <http://yuaikyokai.com>

メールアドレス yuai@yuaikyokai.com



鳩山一郎先生の書「友愛」がトップのタイトルに使われている

(4)発行・配布等

①リーフレット『友愛とは』の配布

入会希望者等に郵送及び、友愛本部(東京事務所)、
鳩山会館等で配布した。

植林訪中時に持参、中国の学生に配布した。また、
エヤップ訪問時のフォーラム等でも配布。

- ・友愛を簡単に紹介する資料として有効であること
から、英訳・中国語訳を作成した



日本語版

友愛とは

友愛とは、人類の共通の理想であり、平和と発展の基盤となる。友愛は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。

友愛の発展と友愛運動

友愛運動は、友愛の理想を実現するための活動である。友愛運動は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛運動は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛運動は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。

友愛本部の業務

友愛本部は、友愛の理想を実現するための活動を行う。友愛本部は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛本部は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛本部は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。

鳩山会館

鳩山会館は、友愛の理想を実現するための活動を行う。鳩山会館は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。鳩山会館は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。鳩山会館は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。

友愛とは

友愛とは、人類の共通の理想であり、平和と発展の基盤となる。友愛は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。

友愛の発展と友愛運動

友愛運動は、友愛の理想を実現するための活動である。友愛運動は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛運動は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛運動は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。

友愛本部の業務

友愛本部は、友愛の理想を実現するための活動を行う。友愛本部は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛本部は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛本部は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。

鳩山会館

鳩山会館は、友愛の理想を実現するための活動を行う。鳩山会館は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。鳩山会館は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。鳩山会館は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。

英語版

What is YUAI?

YUAI is a universal ideal for humanity, the foundation for peace and development. YUAI is about connecting people's hearts and understanding each other. YUAI is about connecting people's hearts and understanding each other. YUAI is about connecting people's hearts and understanding each other.

Advocate for fraternity and fraternity movement

The YUAI movement is an activity to realize the ideal of YUAI. The YUAI movement is about connecting people's hearts and understanding each other. The YUAI movement is about connecting people's hearts and understanding each other. The YUAI movement is about connecting people's hearts and understanding each other.

Realization of YUAI Society

The YUAI Society is a society where the ideal of YUAI is realized. The YUAI Society is about connecting people's hearts and understanding each other. The YUAI Society is about connecting people's hearts and understanding each other. The YUAI Society is about connecting people's hearts and understanding each other.

YUAI Headquarters

The YUAI Headquarters is the organization that carries out activities to realize the ideal of YUAI. The YUAI Headquarters is about connecting people's hearts and understanding each other. The YUAI Headquarters is about connecting people's hearts and understanding each other. The YUAI Headquarters is about connecting people's hearts and understanding each other.

What is YUAI?

YUAI is a universal ideal for humanity, the foundation for peace and development. YUAI is about connecting people's hearts and understanding each other. YUAI is about connecting people's hearts and understanding each other. YUAI is about connecting people's hearts and understanding each other.

Advocate for fraternity and fraternity movement

The YUAI movement is an activity to realize the ideal of YUAI. The YUAI movement is about connecting people's hearts and understanding each other. The YUAI movement is about connecting people's hearts and understanding each other. The YUAI movement is about connecting people's hearts and understanding each other.

Realization of YUAI Society

The YUAI Society is a society where the ideal of YUAI is realized. The YUAI Society is about connecting people's hearts and understanding each other. The YUAI Society is about connecting people's hearts and understanding each other. The YUAI Society is about connecting people's hearts and understanding each other.

YUAI Headquarters

The YUAI Headquarters is the organization that carries out activities to realize the ideal of YUAI. The YUAI Headquarters is about connecting people's hearts and understanding each other. The YUAI Headquarters is about connecting people's hearts and understanding each other. The YUAI Headquarters is about connecting people's hearts and understanding each other.

中国語版

友愛

友愛とは、人類の共通の理想であり、平和と発展の基盤となる。友愛は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。

友愛の発展と友愛運動

友愛運動は、友愛の理想を実現するための活動である。友愛運動は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛運動は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛運動は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。

友愛本部の業務

友愛本部は、友愛の理想を実現するための活動を行う。友愛本部は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛本部は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛本部は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。

鳩山会館

鳩山会館は、友愛の理想を実現するための活動を行う。鳩山会館は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。鳩山会館は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。鳩山会館は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。

友愛

友愛とは、人類の共通の理想であり、平和と発展の基盤となる。友愛は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。

友愛の発展と友愛運動

友愛運動は、友愛の理想を実現するための活動である。友愛運動は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛運動は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛運動は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。

友愛本部の業務

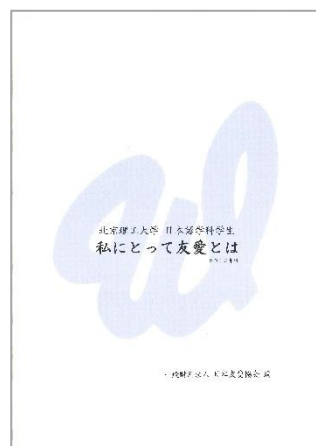
友愛本部は、友愛の理想を実現するための活動を行う。友愛本部は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛本部は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。友愛本部は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。

鳩山会館

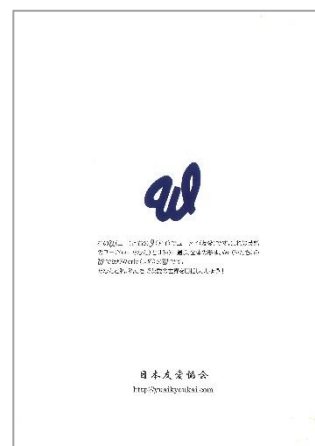
鳩山会館は、友愛の理想を実現するための活動を行う。鳩山会館は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。鳩山会館は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。鳩山会館は、人々の心を結び、互いに理解し合うことである。

②『私にとって友愛とは』

北京理工大学に於ける「友愛講演会」奨学金対象感想文の内、受賞作品を冊子にした。その内容の素晴らしさと日本語の見事さを紹介すべく関係各位及び植林訪中時に持参し配布した。

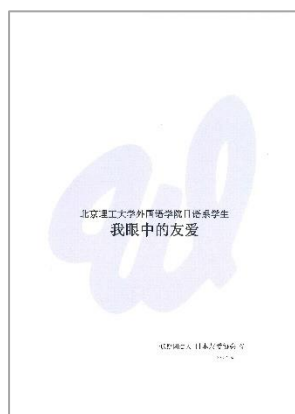


日本語版表紙

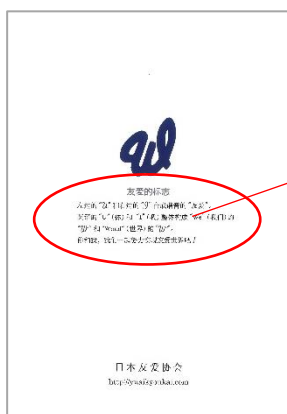


日本語版裏表紙

また、平成28年4月13日北京に於いて開催された表彰式で、日本語版と中国語版を配付した。



中国語版表紙



中国語版裏表紙

友爱的标志

左边的“U”和右边的“J”合成谐音的“友爱”。

英语的“U” (你) 和 “I” (我) 整体构成 “We” (我们) 的 “W” 和 “World” (世界) 的 “W”。

你和我, 我们一起努力实现友爱世界吧!

中国語の友愛ロゴ説明

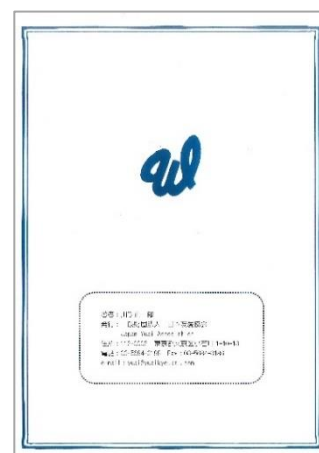
③『友愛雑感』

北京理工大学に於ける「友愛講演会」の開催時、川手常務理事執筆の『友愛雑感』を教材として学生に配布した。

- ・今後中国語訳・英訳などを検討中
- ・友愛活動の歴史をまとめたものとして評価されている。



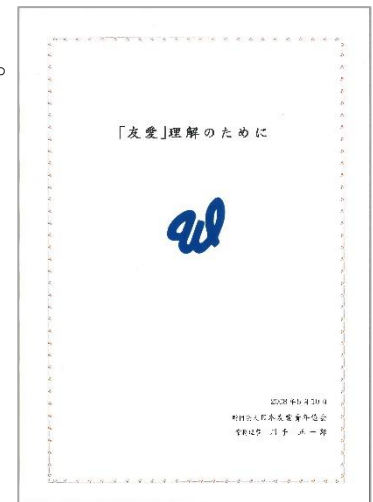
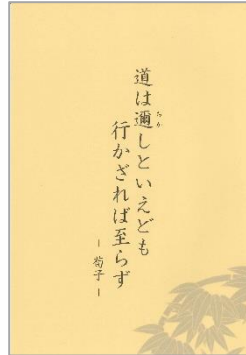
表



裏表紙

④ 友愛解説冊子『「友愛」理解のために』、卓話記録『道は邇しといえども行かざれば至らず』の配布

希望者に郵送及び、友愛本部(東京事務所)等で配布した。
植林訪中時に持参、中国の学生に配布した。



3、国際交流事業

(定款第4条第3号、第5号、第6号に基づく事業)

(1)派遣事業

①演奏会開催のための派遣

(平成27年度事業ではあるが、実施が平成28年度にかかるため、
詳細を平成28年度事業報告書にて報告)

事業概要

- ・本協会及び一般財団法人ドイツ歌曲普及協会が開催する日本ドイツ歌曲コンクール第1位受賞者をウィーンに派遣し、姉妹団体オーストリア勤労青年連盟(ÖJAB)主催の演奏会に出演させ、芸術活動を通じた日奥交換を実現する。
- ・ウィーンへの渡航費用を本協会が負担し、さらにオーストリア勤労青年連盟(ÖJAB)の協力を以って、滞在期間全8日間の宿泊場所、ドイツ歌曲のレッスン、音楽会への出演の機会を提供する。

イ) 派遣者

宮下大器さん

東京藝術大学声楽科卒業。東京藝術大学大学院修士課程3年在学中。平成27年度文部科学大臣賞・第26回日本ドイツ歌曲コンクール優勝。
シュューベルト歌曲賞受賞。

ロ) 滞在期間

平成28年3月29日～4月7日

ハ) 実施内容

平成28年4月6日

アントニオ・ヴィヴァルディホールにて
オーストリア勤労青年連盟主催の演奏会
に出演。

ニ) 協力機関

姉妹団体：オーストリア勤労青年連盟 (ÖJAB)

※ウィーン滞在中の宿泊先を提供



エヤップ本部玄関のシンボルの前で。左からビンマー専務理事、ペルコビッチ会長、宮下大器さん



宮下大器さん出演の演奏会チラシ

②既友愛植林地視察訪中団派遣

事業概要

・平成十二年度より実施している「中国における植林活動」の経過を観察し、地域の方々との交流を深める為に行われるものである。

イ) 派遣者

日本友愛協会最高顧問 鶴巻克雄

日本友愛協会常務理事 川手正一郎

日本友愛協会事務局長 羽中田元美

ロ) 滞在期間

平成28年7月6日(水)～7月16日(土)

ハ) 実施内容

- ・植林実施後十年以上を経過している地域や六年連続して担当した湖北省シキ県などを訪れる予定だったが、武漢空港が洪水で使えないなどの状況から、広西チワン族自治区及び福建省アモイ市の二か所の現場を訪問
- ・鹿寨小学校を再訪。十年前に友愛図書室を寄贈してから2007年2011年と再訪している学校だが今回はその図書室に本と図書室増強のための資金を寄贈

ニ) 協力機関

中華全国青年連合会・中国国際青年交流中心

平成15年広西チワン族自治区来賓市象州県



山の手前にダム(貯水池)が出来て緑が深くなった。結果この記念碑のところまでは行き着けなかった

平成28年視察時広西チワン族自治区来賓市象州県



貯水池の近くには高速道路が開通。村の農産物も流通に載せられる。全てが好循環し村は豊かに

平成28年視察時広西チワン族自治区柳州市鹿寨県



遠くに見える緑の山並み。全て日本友愛協会が植林した現場とのこと。反対側には中日友好の文字がある



大雨の影響で橋が流された。道路が遮断され、植林現場に行き着くことはできなかった

平成23年 アモイ市同安区(2期)



植えたときは直径2センチほどの苗だった。歳月が木々を育て、山を緑に変えた

平成28年視察時アモイ市同安区



全山緑に覆われた現場。左奥に記念碑が見える。分け入っても…の心境になる

平成19年 アモイ市翔安区



植林実施当時の現場。ダム(貯水地)も水が少なく、山は地肌が現れている

平成28年視察時アモイ市翔安区



水を湛えた貯水池と緑に覆われた植林現場。現場に立つと、空気が違うと感じられる

平成19年 アモイ市同安区(2期)



植林当時の記念碑。周りの景色も赤茶けた土が多い。十年後の右の写真の姿は想像もつかなかった

平成28年視察時アモイ市同安区(2期)



苔むして文字の朱も薄くなった記念碑。それでも道路脇にあるため、ハッキリと見ることができる

平成19年 アモイ市翔安区



植林現場を見晴らせる公園に建立した記念碑。後ろの記念植樹の太さを右の写真と比べてほしい

平成28年視察時アモイ市翔安区



立派に育った記念植樹の木々に囲まれた記念碑。公園には人々が憩い、この記念碑の碑文も有効だ

平成22年 アモイ市同安区



赤土がむき出しになった植林現場。記念碑の周りに木々は見あたらない。土埃のなかで植林した

平成28年視察時アモイ市同安区



周りが全て緑に覆われた記念碑付近。左の写真と比較すると、その差は一目瞭然。自然は力強い

平成22年 アモイ市同安区



育った木々を利用して、薬用の蘭を栽培している。環境保全のみならず、経済発展にも寄与している

平成28年視察時広西チワン族自治区柳州鹿寨県



太く高く育った木に感無量。満面の笑みがこぼれる。直径三〇センチを超える木々が沢山あった

鹿寨小学校訪問



小学校に到着すると、花束を持った子供達が迎えてくれた。鶴巻顧問も、思わず相好が崩れる



新築校舎に移動した「友愛図書室」。内容も充実し、立派な図書室としてこちらも成長していた



鶴巻顧問から本を手渡され、小さな声で「謝謝」。夏休み中の訪問で、子供たちは3名が参加した



友愛図書室の充実経費として40万円(2万円)を寄贈。友愛協会の名が電光文字に輝いている



『星の王子さま』『ドラえもん』など、中国語の本を持参した。子供たちは驚いた様子ではにかんでいた



鹿寨小学校の記念植樹も立派に育っていた。余校長先生の変わらぬ笑顔が嬉しい

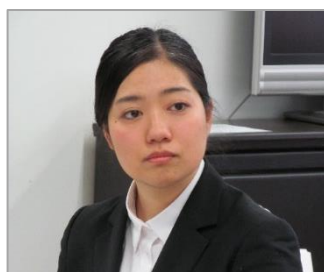
③ウィーン研修派遣実施

日本友愛協会と友好関係を結んでいるオーストリア勤労青年連盟（ÖJAB エヤップ）へ6名の大学生が派遣された。今回の派遣は、研修を主に学生間の交流を目指すもので、早稲田大学谷藤悦史教授、東北大学戸澤英典教授、慶應義塾大学井上浩義教授より推薦を受けた男女それぞれ3名ずつ計6名で派遣団を結成した。

イ) 派遣者



チームリーダー
坂本卓哉 さかもとたくや
東北大学法学部法学科3年



戸澤春奈 とざわはるな
東北大学法学部法学科3年



荒石浩司 あらいしこうじ
早稲田大学政治経済学部
政治学科3年



田島莉子 たしまりこ
早稲田大学政治経済学部
政治学科3年



佐藤正幸 さとうまさゆき
慶應義塾大学医学部1年



林 有里紗 はやしありさ
岐阜大学医学部医学科1年

ロ) 滞在国・期間

オーストリア ウィーン

平成29年2月17日(金)～2月26日(日)

ハ) 実施内容

(1) 壮行会開催 友愛について学ぶ

出発前日の2月16日(木)友愛サロンに於いて壮行会開催



研究の都合でヨーロッパを訪問しますので、学生の活動に参加して来ますと。戸澤英典評議員



このような事業活動が実施されるのは、学生にとって喜ばしいことであると挨拶。井上浩義理事



川手常務理事より『友愛概論』を基に講義を受ける。全員熱心に聞き入っていた



エヤップとの関係などを交え、若人に国際感覚を持って欲しいと事業の概要を。鳩山由紀夫理事



初めて会った六人の学生は、食事の頃には意気投合。柔軟な若さとエネルギーが感じられる



出発前に理事長を囲んで記念撮影。全員の笑顔が輝いている。ウィーンでの十日間が楽しみ！

(2)現地研修

- ・エヤップの活動についてのセミナーを受ける
- ・老人ホームを訪問して交流を図る
- ・現地学生とアップルパイ作り体験
- ・国連のCTBTO(包括的核実験禁止条約機関準備委員会)を訪問
- ・在オーストリア日本大使館／小井沼大使表敬訪問

ニ) 協力機関

姉妹団体：オーストリア勤労青年連盟 (ÖJAB)

※ウィーン滞在中の宿泊先を提供

オーストリア研修



エヤップの創設者ブルーノ元会長の墓に詣でた。この墓地には、クーデンホーフ・ミツコの墓もある



職業訓練所にて、エヤップの難民への取り組みについて詳しいお話を伺う



職業訓練所にて
生活の基盤が安定するよう職業訓練を行い、就職も斡旋している



老人ホーム訪問
皆さんに折り紙を披露。子どもたちも一緒に折り紙を楽しんだ



CTBTOのゼルボ事務局長を囲んで記念撮影。職員の方々が熱心に説明をしてくださった



オーストリア外務省にて、今事業のエヤップの担当者ペトラさん（左から2人目）も一緒に

(2)受入事業

①ミャンマー指導者育成プロジェクトの実施

事業概要

アウンサンスーチー議長より依頼を受け、友愛の理念のもと、「全ビルマ学生連盟外交委員会日本」と「ミャンマーニューリーダーを育成する会」と協力し、NLD（国民民主連盟）から派遣された研修生に、ミャンマー発展に資する指導者としての必要な研修の場を与え、その活動を支援するものである。

事業目的

ミャンマーの主たる産業が農業であることから、農業に関する知識、技術を日本の文化や考え方、生活に触れながら学ぶ機会を設けること。

研修後は自国において、日本で学んだことを伝え実践するよう努める。

研修を通して日本について理解してもらい、今後のミャンマーとの友好関係を緊密なものにする役割を担ってもらう。

事業実施

平成28年度はミャンマーの国政状況や日本側の受入れ施設検討などの問題もあり、「全ビルマ学生連盟外交委員会日本」と「ミャンマーニューリーダーを育成する会」との話合いの結果、今年度はNLD（国民民主連盟）からの研修生の受入れを見送った。

実施内容

鹿児島県において、サツマイモの根付から収穫までを体験。更にサツマイモから焼酎をつくる技術などを学び、自国での農業、経済発展に資する。

近郊型野菜作りを体験し、自国での可能性を探る。

②オーストリア勤労青年連盟(エヤップ)より派遣員受入れ

事業概要

自由と平等の社会実現の為にはその絆として友愛が不可欠であるとの理念を基に、日本友愛協会と姉妹団体の関係にあるオーストリア勤労青年連盟(エヤップ)は、それぞれが派遣員を送り、交流を続けているものである。

事業実施

イ) 派遣員

ペトラ・ハイドラーさん 37歳

アドリアナ・バッサニさん 29歳

ロ) 滞在期間

平成28年8月27日(土)～9月5日(月)

ハ) 同行者

小島原知大・本田夏菜・堀江遼颯・小林沙衣・河口ハルトマン ミヒャエラ

ニ) 実施内容

昨年度は友好協定50周年を記念して日本友愛協会がエヤップ(ÖJAB)を訪問したため、受入れは実施されなかったが、今年度は2名を受入れ、フォーラムの開催をはじめ、積極的な活動のもと有意義な8日間を過ごした。

8月28日(日) 学生とのフォーラム開催 於：友愛サロン

8月29日(月) 歓迎昼食会 於：ホテルニューオータニ千羽鶴

鳩山会館見学、鳩山家墓参(谷中)

8月30日(火) 京都

31日(水) 京都

9月1日(木) 広島

2日(金) 広島市松井市長訪問・原爆資料館見学・平和記念公園にて献花

9月3日(土) 東京

9月5日(月) 帰国



小学生、中学生を交えてのフォーラム。鳩山理事長も真摯に自らの思い、友愛について話した



友愛サロンでフォーラムを開催。今、世界を見つめて何をすべきかなどをテーマに話しあいが進んだ



鳩山由紀夫理事長を囲んで。歓迎昼食会が開催され、日本料理にキレイ！オイシイ！の連続



京都では日本の伝統文化体験として着物（浴衣）に着替え、街を散策。同行の二人も同じ体験を



世界遺産厳島神社・宮島を見学。暑い陽ざしの中元氣に行動



鳩山家の象徴の一つ、鳩山会館を見学。素晴らしい歴史が残されていると感激の面持ちだった



エヤップの二人のたつての願いで、谷中の鳩山家のお墓に墓参。真剣な面持ちで手を合わせていた



広島市庁舎、市長応接室で記念撮影。松井広島市長には、鳩山由紀夫理事長より親書が届けられた



松井広島市長にはお忙しい公務の中時間を割いていただいた。来日の二人もエヤップの姿勢を伝えた



原爆ドームを背景に。原爆資料館見学の後で、全員の面持ちがこわばっている



被爆者である小倉桂子さんから、被爆体験を聴講。全員の心に深く刻まれた出来事であった

(3)交流事業

①友愛国際写真コンクール

事業概要

- ・「友愛」「平和」「緑(環境保護)」「人と自然」をテーマに、写真コンクールを行う。
- ・近年、携帯電話、インターネットの普及に伴い、中国における写真に対する興味が増加している。日本においてもインターネットへの写真掲載は容易となり発展している。
- これらを踏まえ、植林事業において永年カウンターパートとして協力関係を続けている中華全国青年連合会(中国国際青年交流中心)との関係をこの事業によって継続し、日中友好を築くこととする。
- ・国籍を問わず応募者を募り、友愛の理念を広め、世界平和、環境保護に対する世界の青年および成人の認識を呼び起こす契機となる。

実施内容

- ・中国国内においては、中華全国青年連合会(中国国際青年交流中心)が核となり、インターネットを利用した募集、管理を行う。
- ・日本国内においては、ポスターを作成し各大学等に掲示を依頼する。
- ・日本友愛協会ホームページ上に、コンクール開催を掲示し募集する。
- ・両国とも受付窓口は、インターネットによるものとし、中華全国青年連合会(中国国際青年交流中心)が行う。
- ・投票サイトを開設。日本語・中国語・英語にて掲載。
- ・応募締め切り後、日中両国の審査員によって、審査を行う。
- ・審査終了後日、中国(北京)において、展示会及び表彰式を行う。

募集テーマ

「友愛」「平和」「緑(環境保護)」「人と自然」

応募資格

国籍を問わず、年齢13歳以上の者



2016年友愛国際写真コンクール
今年のテーマは
友愛、平和、緑、人と自然

応募要項

テーマ: 友愛、平和、緑(環境保護)、人と自然
応募資格: 国籍を問わず、年齢13歳以上の者ならどなたでも応募できます。
※お一人様1作品まで
コンテスト期間: 作品募集: 2016年9月20日～9月30日
作品発表: 2016年9月～10月
授賞式: 2016年11月
(上記入賞者は北京で開催される授賞式に参加できます)
賞品: 優秀作品を「友愛賞」「緑賞」「人と自然賞」「平和賞」に授与し、各賞状と賞品が送られます。
応募料金は10万円です。

作品のご応募は、以下の日本友愛協会ホームページからお申し込みいたします。
<http://yuaikyukai.com/>
主催: 日本友愛協会・中国国際青年交流センター

配布・掲示用ポスター

応募規定

ひとり3作品まで。

自作、未発表の作品をインターネットで応募すること
紙焼き等の応募は不可

期間

応募期間：2016年6月20日～9月20日

作品審査：2016年9月～10月

表彰式：2016年11月22日

応募総数

2016年6月20日から9月20日までの応募期間に、寄せられた作品は約10,000点強。内日本からの投稿者は12名程。

応募参加の国々

世界17ヶ国

日本側審査員

新藤健一（写真家）…表彰式参加

石渡菜々子（写真家）…表彰式参加

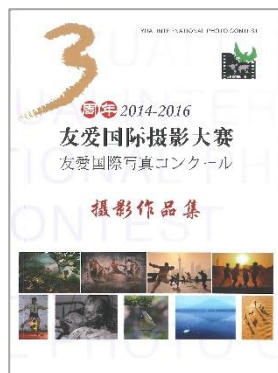
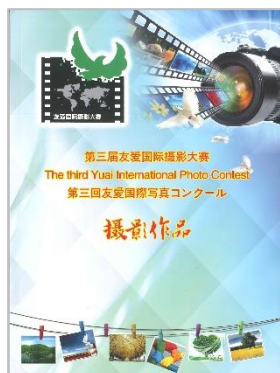
日本友愛協会理事

受賞作品

専門賞(芸術写真として完成度の高いものに一等から三等の賞)、友愛賞、優秀賞、友好参加賞、ネットユーザー人気賞、携帯写真賞(携帯電話で撮影したもの)等、部門毎の賞を設定し、中国側審査員5名、日本側審査員2名及び日本友愛協会理事会の厳正なる審査の結果、約40点が受賞作品に選ばれた。



中華全国青年連合会(中国国際青年交流中心)作成の第3回友愛国際写真コンクールの冊子(左)と第1回目からのコンクール結果をまとめた冊子(右)表彰式時に配布された



受賞作品

- *受賞作品を機関紙『友愛』(545号)の附録として発表
- *本協会ホームページ上に掲載発表

2016年友愛国際写真コンクール 受賞作品 紙上発表

友愛 附録

一等賞 趙曉天「夢に向かってキック」

二等賞 袁永輝「幸せへの道」

二等賞 李利光「愛情深い接吻」

二等賞 岩井「風の中の網」

三等賞 劉華斌「鐘歌」

三等賞 劉作詩「93歳の先生へ敬礼」

三等賞 陳博斌「大地の目」

三等賞 Leyla Emecete「平和と安寧」

三等賞 陳武波「収穫の時」

優秀賞

張明「星々に変えられる月のようだ」

楊金興「臺南訪賓に」

張作又「大家賦」

張明「一輪に息を見よう」

劉一八州「家裏の初戀」

沈洋「光と影の物語」

劉一八州「既決」

張志「神輿・大涌流」

張明「前赴金の店」

張明「老人ホームでの結婚式」

張明「墓園にも負けず」

張明「故郷を走る」

張明「思わぬ災客」

張明「火災救助」

友好参加賞

張明「水で遊ぶ」

張明「自然の奇観」

張明「新しい生活」

張明「楽しい民族衣装」

張明「白鳥の湖」

張明「古い街と少女」

張明「お家の里」

張明「静寂」

張明「星の夜」

張明「夢かい風」

張明「大好きなひいおばあちゃん」

張明「笑顔」

張明「老夫婦」

張明「樹と樹の情」

表彰式

平成28年11月22日(火)北京市内にある二十一世紀ホテルに於いて「2016年友愛国際写真コンクール」の表彰式が開催された。

表彰式当日は、会場には木寺昌人在中国特命全権大使、共青团中央委員会傅振邦書記をはじめとする来賓が出席、祝辞を述べた。会場では中国国際青年交流中心スタッフ作成の「友愛との歴史」と題する映像が流され、植林活動を始め永年に亘る交流の歴史が紹介された。

各賞及び賞金

専門賞	1等賞 (1名)	6,000 元 × 1名	= 6,000 元
	2等賞 (3名)	3,000 元 × 3名	= 9,000 元
	3等賞 (5名)	2,000 元 × 5名	= 10,000 元
	優秀賞 (10名)	500 元 × 10名	= 5,000 元
友愛賞	2名	5,000 元 × 2名	= 10,000 元
ネット人気賞	1等賞 (1名)	3,000 元 × 1名	= 3,000 元
	2等賞 (3名)	1,000 元 × 3名	= 3,000 元
	3等賞 (5名)	500 元 × 5名	= 2,500 元
携帯賞	クリエーション賞 (30名)	100 元 × 30名	= 3,000 元
	感動賞 (30名)	100 元 × 30名	= 3,000 元
優秀組織賞	1団体	3,000 元 × 1団体	= 3,000 元
友好参与賞	19名		賞品
金額計 57,500 元 (1 元 ≒ 19 円 約 1,100,000 円)			

表 彰 式



「毎年作品の質が向上しているので、驚きと共に楽しみです」と挨拶。鳩山由紀夫理事長



学生に囲まれてサインを求められる鳩山由紀夫理事長。中国の大学生に絶大な人気がある



展示会場に飾り付けられた作品。中国国際青年交流中心のスタッフが、徹夜で作業してくださった



展示会場には多くの人々が訪れている。入賞者各人も、自分の作品を見つけ、歓声をあげていた



中国側審査員から、審査の着目点などの説明を聞きながら、一点一点鑑賞する鳩山由紀夫理事長



汪鴻雁書記(左)と鳩山由紀夫理事長から一等賞の賞状と賞金の記された大きなパネルが授与された



友愛賞受賞の二人。川手正一郎常務理事(中央)から賞状と賞金パネルが授与された



三等賞の賞状・賞金は洪桂梅副主任(右端)と新藤健一審査員(左端)より授与された



ホテルの各階、エレベーターホールなど、各所に友愛国際写真コンクールの案内が置かれている



携帯クリエイション賞の受賞者は四名。石渡菜々子審査員(中央左)と陳審査員(中央右)が授与



翌日展示場所は変わり回廊へ。任晋陽書記（左端）と共に、再度鑑賞。鳩山理事長夫妻



作品は、ホテルと全青連事務所ビルとをつなぐ回廊に一ヶ月間展示され、多くの人に提供される

②ベトナムへの車椅子贈呈事業

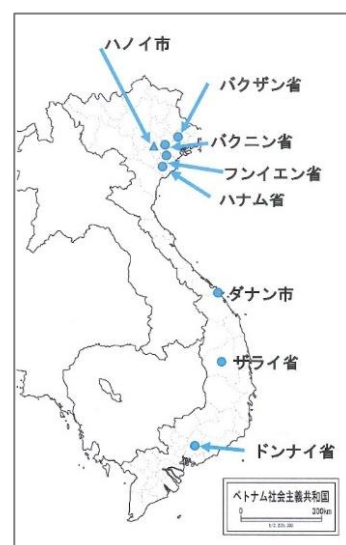
ハノイ／オリンピア小学校にて贈呈式開催

ベトナムへの車椅子贈呈事業は3年前より、国際交流事業の一環として実施されている。ベトナム戦争時、米軍の使用した枯葉剤による土壌汚染の影響で、障害を持った子供が生まれるなど、化学兵器の被害は、今なおベトナムの各地で人々を苦しめている。

ベトナム政府もプックナム国際病院を設置、対策には力を入れているが、物資の不足は否めず、特に車椅子が無いため、社会進出はもとより、通院もできない子供、青少年が多くいるのが現状である。プックナム国際病院を訪問した際、その現実を見聞きした鳩山由紀夫理事長が発案し、東アジア共同体研究所との共同事業として車椅子贈呈事業が発足した。

実施内容：3年目3回目の今回も50台の車椅子を、プックナム国際病院を始め、各地に贈った。協力団体である日本アビリティーズ協会(伊藤弘泰会長)からも10台の支援があり、計60台の車椅子を贈った。

この事業は、ベトナム国内では全国ニュースとして流れ、車椅子を希望する市町村が増えている。その中から今年は、8か所の市、省に分散して届けられた。



車椅子贈呈先の市・省

贈呈式開催日：平成29年3月12日(日)

贈呈式開催場所：ベトナム・ハノイの
オリンピア小学校講堂



車椅子に座ったとたん、戸惑いとともに
笑顔が溢れて、連れて来た親御さんの目
には涙も



多くの方のご尽力を得て今年も60台
を贈ることができましたと挨拶。
微力ではあるが続けて行きたい有意義
な事業ですと鳩山由紀夫理事長



友愛の理念のもと、この事業を続けてい
ますと、小学生に解り易い言葉で丁寧に
世界平和を語った



遠い町から、この日の為にやって来た。
車椅子までは、いつも通り背負われた
り、抱かれたりの状態



車椅子に座って、言葉が出ない程嬉しい
ですと語る青年。まず自分で市場に行っ
て買い物をしたいと



「世界平和の為に何ができますか」との
質問を「素晴らしい質問です」と誉めら
れて緊張が笑顔に



町や村の代表とともに、車椅子を受け取りにハノイに集まった方々。支援する



言葉では伝えられない喜びを、指先のピースサインに込めて表現する少女。親御さんは涙ぐんでいた



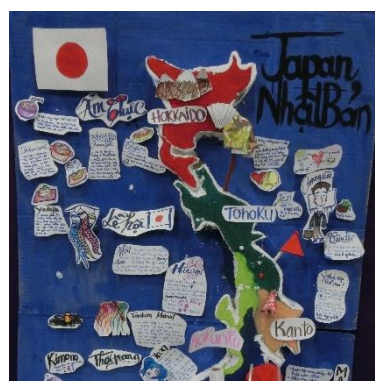
「こうした活動でご支援いただいていることを感謝します」とファム・レー・トゥアン厚生副大臣



「オリンピア小学校図書館に日本語の本を寄付します」と発表。ニュース証券(株)西川敏明CEO



各地方の民族衣装で、様々な舞踊を披露してくれたオリンピア小学校の生徒たち



オリンピア小学校では、親日的授業が取り入れられている。子供達が作った特徴入り立体日本地図



参列者の長寿と繁栄を寿ぐための民族舞踊が披露された。田植えの苗に見立てた植物は、長寿の印



障害者の方々が車椅子のお礼にと作ったバラのブローチ。鳩山理事長もこれを着けてお話をした



枯葉剤の影響で障害を持つ人々が作ったビーズの飾り物。鮮やかな彩りでサンゴを表している



チャオと呼ばれる植物の種子で作った苗に見立てた縁起物。この実を齧ることが長寿に繋がるとか

③パオの展示

本協会は、鳩山由紀夫理事長より寄贈を受けたパオを、国際交流事業の一環として友愛山荘敷地内に展示し、外国文化に触れる機会を提供することとし、平成25年8月8日より展示を行っている。

パオはモンゴル遊牧民の移動住居である。実際に現地で使用される物を展示していることから、生活の実際を垣間見ることができる。

また本年度より併せて、資料としての衣類（民族衣装）、家具などの展示を開始した。

大学生のゼミ合宿の際など、グループ毎のミーティングをパオの中で行うなど、パオが創り出す空間が人気を呼んでいる。

本協会として国際交流の実態を示すよう下記の趣意書をパオの内部、友愛山荘玄関ホールなどに置き、宣伝に努めている。

《趣 意》

国際交流の一環として包(パオ)を日本の多くの方にご高覧いただき、外国文化に触れ、相互理解の一助になれば幸いと存じ、軽井沢友愛山荘に展示します。



友愛山荘の庭、テニスコート寄りに二基のパオを設置、展示を続けている



パオの一基は、資料展示室として設営



手入れの甲斐もあり、パオは雪の重さにも耐えた

④友愛講演会事業

◆平成27年北京理工大学に於ける「友愛講演会」

奨学金対象者感想文の選考結果

北京理工大学奨学金授与式

・平成28年4月13日、北京理工大学のイベントホールに於いて開催された表彰式で、日本友愛協会より奨学金と賞状・記念品が贈られた。

・講演会に参加した学生から「私にとって友愛とは」の題で感想文を募ったところ、二十数編が寄せられた。

(入賞作品6編は、機関紙『友愛』第540号に全文掲載)

・北京理工大学日本語学科の周教授、郭教授を始めとする教授陣の選考を受けた二十編が日本友愛協会に届けられた。

この二十編を理事、監事、評議員長を審査員とし、百点満点で採点。更に中国国際青年交流中心の王部長、羊課長の採点も加え厳正な審査が行われた。

いずれの作品も素晴らしい出来映えで、審査員を大いに悩ませたが、結果6名の受賞者が選出された。

***今回の表彰式は平成26年度実施の講演会における感想文の受賞者に対して行われたものである。平成27年度の講演会及び感想文受賞者に関しては後述。



1位入賞の徐嘉熠さんと記念撮影。徐さんの受賞スピーチは、内容、発音、構成すべて完璧！



北京理工大学奨学金授与式で挨拶する鳩山由紀夫理事長。全ての作品が百点でしたと語った



受賞者全員と、北京理工大学周教授・郭教授、関係各位と共に記念撮影。初の事業は成功裡に終了

◆平成28年 中央民族大学・北京理工大学・北京大学・北京外国語大学・北京第二外国語大学学生を対象に「友愛講演会」開催

平成28年11月22日(火)、23日(水)の2日間に亘って、日本友愛協会国際交流事業の一環として、「友愛講演会」が開催された。

1日目は北京にある国立中央民族大学講堂、2日目は二十一世紀ホテルが会場となり、鳩山由紀夫理事長がそれぞれ二時間にわたり、講演を行った。

北京理工大学は、北京市内2か所のキャンパスに三万人を擁する大学で、それぞれのキャンパスの周辺は、付属幼稚園を含め、小学校、中学校、高校もあり、学校関係の人々が生活するすべてが揃っており、ひとつの街を作り上げている。同大学には、日本語学科があり、今年度から3カ年計画で、日本語による受講感想文を基に、奨学金を提供する。



中央民族大学の大講堂で、「友愛社会の実現を」をテーマに2時間に及ぶ講演を。鳩山由紀夫理事長が思いの丈をつたえた



会場を埋め尽くす学生。誰もが真摯に「友愛」のテーマに向き合っている姿勢が感動的であった



鳩山由紀夫理事長に「今後も講演にお越しくください」との言葉とともに「名誉教授証」が贈られた



学生の代表から、鳩山理事長夫妻の似顔絵を切り絵で表現した額が贈られた(写真右下)



2時間に及ぶ講演の間、用意された椅子にかけることなく、熱意を込めて学生に話を



2日目も鳩山理事長は「同じ高さで話を」と段を降り2時間立ち続けで学生に語りかけた



鳩山由紀夫理事長・幸夫人の似顔絵を切り絵で表現。似てるかな? とはにかみながら受け取った



間近で語りかける鳩山理事長の熱意、熱心に耳を傾ける学生の思いが重なって、会場は充実の空間に



北京大学から送られた特製の堆朱の壺。見事な朱が鮮やかに浮かび上がっている(友愛サロンに展示中)



鳩山由紀夫理事長・幸夫人・川手正一郎常務理事を囲んで記念撮影。北京大学日本語学科の学生諸氏。中には日本からの留学生も混じる。全員が通訳なしで2時間の講演を聴き、的確な質問が出来るほどの理解力を持っている。その力強さに圧倒されるばかりだ



「友愛を政治上で実践するには、どのような問題点が」と角度を変えて質問する学生も



学生の1人は「友愛と宗教の価値観とはどのように違うのですか?」と鋭く切り込んだ



「友愛の優しさを実践することは難しいと感じています」と女子学生も自身の考えを述べる

◆平成28年度 奨学金対象者感想文の選考結果

・昨年同様講演会に参加した学生から「私にとって友愛とは」の題で感想文を募ったところ、数十編が寄せられた。

(入賞作品6編は、機関紙『友愛』第548・549号にて全文掲載予定)

・北京理工大学日本語学科の周教授、郭教授を始めとする教授陣の選考を受けた二十一編が日本友愛協会に届けられた。

この二十一編を理事、監事、評議員長を審査員とし、百点満点で採点。更に中国国際青年交流中心の王部長、羊課長の採点も加え厳正な審査が行われた。

いずれの作品も素晴らしい出来映えで、審査員を大いに悩ませたが、結果6名の受賞者が選出された。

・平成29年4月12日、北京理工大学のイベントホールに於いて開催された表彰式で、日本友愛協会より奨学金と賞状・記念品が贈られた。

受賞者紹介



第1位
楊崢さん(2年生)



第2位
汪玉珏さん(4年生)



第2位
王文傑さん(4年生)



第3位
金正琳さん(4年生)



第3位
魏永珍さん(2年生)



第3位
張鵬さん(4年生)

* 写真は入選者各自より提出されたものを掲載

4、日中緑化交流基金による中国植林事業

(定款第4条第2号、第4号に基づく事業)

事業概要

日中緑化交流基金を活用し、中国における植林活動を行う。環境保全に貢献し日中友好を目指す。併せて交流の機会を設け広く友愛の理念を伝える機会を得る。実施においては、中華全国青年連合会(中国国際青年交流中心)を中国側カウンターパートとし、日本からは広く募集をかけ参加者を募り、訪中団を結成し中国に派遣する。

《平成28年度事業》

- 1) 第1期日中青年陝西省麟游県生態緑化モデル林
第1期日中青年遼寧省義県生態緑化モデル林

*上記2プロジェクトの起工式、植林訪中団の派遣は、土壤凍結等の都合から平成28年4月に第27次友愛植林訪中団を派遣し、実施した。

*本事業報告書では、平成28年4月に実施した第27次植林訪中(平成27年度事業)に関する詳細を報告する。

- 2) 第27次植林訪中団派遣

(期間) 平成28年4月9日～14日

(植林地) 陝西省宝鶏市麟游県、遼寧省錦州市義県、

(中国側カウンターパート) 中華全国青年連合会、遼寧省錦州市青年連合会
陝西省宝鶏市青年連合会、

(訪中団員) 名誉団長 鳩山由紀夫理事長

団長 川手正一郎常務理事

団員 鳩山 幸(鳩山由紀夫理事長夫人)

羽中田元美事務局長

◆第1期日中青年陝西省宝鶏市麟游県生態緑化モデル林

(日中緑化交流基金からの助成金) 8,225,977円

(植林面積) 40ヘクタール

(植樹数) 36,000本

(植樹種) 油松、胡桃

実施の成果

区域生態にある程度の障壁を作ることによって、環境が悪化しつつある傾向が抑えられ、土地の退化、土壌流失や砂漠化などの自然災害現象の発生が減少している。併せて地域の自然環境が今後更に改善されるという効果が期待できる。また、広報活動、ボランティア植林活動や事業起工式などの活動により、環境保全への意識が高まり、地域住民における環境保護の意識の普及に役立っている。

- ◆第1期日中青年遼寧省錦州市義県生態緑化モデル林
(日中緑化交流基金からの助成金) 7,825,977 円
(植林面積) 40 ヘクタール
(植樹数) 60,000 本
(植樹種) 油松、山杏

実施の成果

現地は植物の生息が少なく、土壌の流出が深刻であったが、本事業の完成により、40ヘクタールもの林地が増えたことで、生態環境が改善され、植物の保水機能が働き、土壌流出を軽減させ、植生の防護機能が効果を生んだ。さらに、現地においての植樹、ボランティアの参加などの実際の日中交流が行われることで、日中両国の友情、世々代々に伝わる友好の増進に大いに寄与することであり、日中友好促進の重要な意義を果たしていると言える。

陝西省宝鶏市麟游県



麟游県の植林現場での起工式。新しく道路を作り、かなり奥地まで進み、一帯の山々を植林する



「私は植林現場で、皆さんとお会いすることが生き甲斐です」と力強く挨拶。川手正一郎常務理事



集まった青年たち一人一人と握手を交わす
鳩山由紀夫理事長。青年たちは感激して大
騒ぎに



麟游県の植林に用いた松の苗。直径2セン
チ程、高さは80センチ。大きく太く元気
に育て！



小高い山を中腹まで登り、松の苗を植樹し
た。土が乾いていて、今後の成長を祈るば
かりだ



集まったボランティアの青年たちも、頑張
って苗を植える。彼等の心にも日中友好の
苗が植えられた

遼寧省錦州市義県



急きょ室内で行われた義県の起工式。二十
七回の植林訪中で初めて
(雨天の場合も屋外であった)



起工式には大勢の学生が参加。先ほどまで
雨の中、屋外の会場で待っていてくれたの
だ



小雨降りしき中、まとわりつく泥にもめげず、元気に植樹活動を。一掬いすると土の中は乾いている



設営され使われなかった式典会場で、せっかくだからと記念碑を背に記念撮影



義県の植林現場。見渡す限り草木の気配がない。植えた苗が育ち、緑に覆われる日がくることを！



日本友愛協会常務理事川手正一郎の友愛植林地視察訪中報告記事が、『日中緑化交流基金だより』にて紹介された * 機関紙『友愛』第543号既報

5、他団体への協力事業

(定款第4条第2号、第7号に基づく事業)

1) 鳩山会館への協力

- ・同会館パンフレットを友愛本部(東京事務所)、軽井沢友愛山荘にて配布
- ・館長／鳩山由紀夫理事長、支配人／長田正太郎監事

2) 鳩山友愛塾への協力

- ・鳩山友愛塾修了生の会開催時に事務局が協力

3) 一般財団法人 人間塾への協力

4) 一般財団法人 東アジア共同体研究所への協力

- ・軽井沢友愛山荘利用にあたって、同法人会員に割引価格提供

5) 核兵器廃絶・平和建設国民会議（K A K K I N）への協力

- ・同会議会員として参加する。

6) 一般財団法人尾崎行雄記念財団への協力

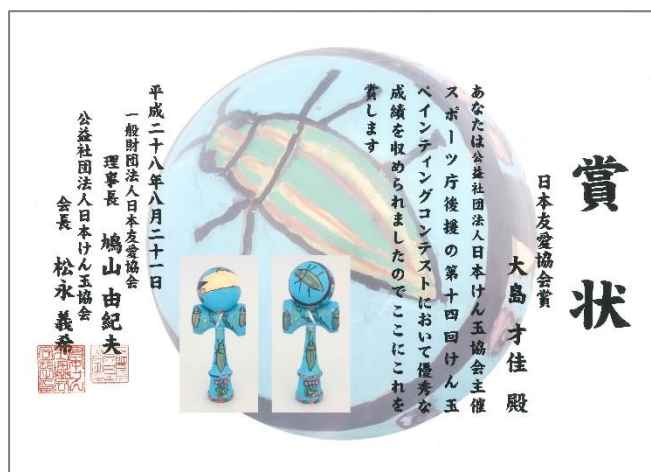
- ・同財団会員として参加する。
- ・鳩山由紀夫理事長が同財団副会長を務める。
- ・鳩山邦夫副理事長が同財団顧問を務める。
- ・谷藤悦史評議員が同財団評議員、萩原直三評議員が同財団理事を務める。

7) 公益財団法人日本補助犬協会への協力

- ・東京事務局及び友愛山荘内に募金箱を設置。
- ・鳩山由紀夫理事長が同協会の名誉顧問を務める。

8) 一般財団法人日本けん玉協会への協力

- ・同協会主催「第14回 けん玉ペインティングコンテスト」に「日本友愛協会賞」および「団体賞」を提供し、賞金として総額6万4千円を拠出した。



日本友愛協会賞の賞状

本人の作品が印刷されている賞状。美しい玉虫が描かれている



大島才佳さんの作品。
水色を基調にした本体
に玉虫の色つやも見事
に描かれている



オランダから授賞式に参加したアルファ・グラフさんは、けん玉協会の栄誉に輝いた



賞状を手に川手常務理事と可愛い笑顔で写真に納まる大島才佳さん。これからも絵を描き続けると

IV 業務執行

1、理事会開催

第47回臨時理事会

開催日：平成28年4月20日（水）

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、友愛山荘事業、経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して、植林事業に関して、「友愛講演会感想文コンテスト」表彰式に関して

第48回臨時理事会

開催日：平成28年5月20日（金）

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、友愛山荘事業、経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して、機関紙『友愛』第541号発行

第49回通常理事会

開催日：平成28年6月24日（金）

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、友愛山荘事業、経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して、植林事業に関して、2016 友愛国際写真コンクールに関して、沼津市戸田「友愛の像」等視察・新聞掲載に関して
平成27年度事業報告・平成27年度計算書類
平成27年度公益目的支出計画実施報告
その他、鳩山邦夫 副理事長 6月21日ご逝去の報告

第50回臨時理事会

開催日：平成28年7月29日（金）

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、友愛山荘事業、経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して、国際交流事業・既植林地視察事業に関して、2016 友愛国際写真コンクールに関して、ミャンマー研修生受け入れ事業に関して、機関紙『友愛』第542号発行

第51回臨時理事会

開催日：平成28年9月16日（金）

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、友愛山荘事業、経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して、第14回けん玉ペインティングコンテスト、エヤップよりの来日受け入れに関して、日中緑化交流基金による植林活動に関して、ベトナムへの車椅子贈呈事業に関して、機関紙『友愛』第543号発行

第52回臨時理事会

開催日：平成28年10月14日（金）

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、友愛山荘事業、経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して、2016友愛国際写真コンクールに関して、「友愛講演会」に関して、日中緑化交流基金による植林活動に関して、ドイツ歌曲普及協会より「第27回日本ドイツ歌曲コンクール」開催案内
その他、奥田吉郎 理事 9月21日ご逝去の報告

第53回臨時理事会

開催日：平成28年11月25日（金）

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、友愛山荘事業、経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して、2016友愛国際写真コンクールに関して、「友愛講演会」に関して、ドイツ歌曲普及協会より「第27回日本ドイツ歌曲コンクール」本選会開催案内、「友愛とは」リーフレット改訂版完成、ベトナムへの車椅子贈呈事業、
機関紙『友愛』第544号発行

第54回臨時理事会

開催日：平成28年12月16日（金）

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、友愛山荘事業、経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して、エヤップへの派遣事業に関して、ミャンマー指導者育成事業に関して、ベトナムへの車椅子贈呈事業、「論語に学ぶ友愛」講座に関して、平成28年度植林事業予定地変更に関して、日本友愛協会ホームページリニューアルに関して

第55回臨時理事会

開催日：平成29年1月20日（金）

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、友愛山荘事業、経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して、エヤップへの派遣事業に関して、ミャンマー指導者育成事業に関して、ベトナムへの車椅子贈呈事業、「論語に学ぶ友愛」講座に関して、平成28年度植林事業予定地変更に関して、日本友愛協会ホームページリニューアルに関して
機関紙『友愛』第545号発行

第56回臨時理事会

開催日：平成29年2月24日（金）

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、友愛山荘事業、経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して、ミャンマー指導者育成事業に関して、ベトナムへの車椅子贈呈事業、「論語に学ぶ友愛」講座に関して、平成28年度植林事業予定地変更に関して、日本友愛協会ホームページリニューアルに関して、「私にとって友愛とは」奨学金対象感想文募集に関して、平成29年度事業計画案、平成29年度事業予算案
一般財団法人日本友愛協会と一般財団法人東アジア共同体研究所の組織再編に関して

第57回通常理事会

開催日：平成29年3月31日（金）

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、友愛山荘事業、経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して、ベトナムへの車椅子贈呈事業、「私にとって友愛とは」奨学金対象感想文募集に関して、植林訪中に関して、一般財団法人日本友愛協会と一般財団法人東アジア共同体研究所の組織再編のための準備委員に関して
機関紙『友愛』第546号発行

2、評議員会開催

第12回定時評議員会

開催日：平成28年6月24日（金）

場 所：友愛サロン

議 事：平成27年度事業報告、平成27年度計算書類
平成27年度公益目的支出計画実施報告、
その他、鳩山邦夫 副理事長 6月21日ご逝去の報告

第13回臨時評議員会

開催日：平成28年10月14日（金）

場 所：友愛サロン

議 事：平成28年4月から9月までの主な実施事業に関して
友愛山荘土地売却及び事業用定期借地権設定契約締結に関して、利益
相反取引締結に関して、理事の選任に関して、評議員選任に関して
その他、奥田吉郎 理事 9月21日ご逝去の報告

第14回臨時評議員会

開催日：平成29年3月31日（金）

場 所：友愛サロン

議 事：平成29年度事業計画、平成29年度事業予算、
一般財団法人日本友愛協会と一般財団法人東アジア共同体研究所の組
織再編に関して